

予算決算委員会産業建設分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 日 時	令和 元年5月16日 13時52分開会 令和 元年5月16日 14時38分閉会
2. 場 所	委員会室
3. 出席議員	大上和則座長、吉田知代副座長、 渡辺拓道委員、園田依子委員、足立義則委員、國里修久委員、 森本富夫議長
4. 会議に付した事件	議案第41号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算(第2号)

5. 議事の経過	
開会	13:52
【分科会】	
大上座長	開会宣告
大上座長	あいさつ
■日程第1 議案第41号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算(第2号)	
【主な説明】	
農都創造部より補正予算書に基づき説明	
【主な質疑】	
足立委員	観光費に関し、当初6月補正で計上する予定であった予算も前倒して今回緊急対応として計上されているが、何をいつ頃までに行うのか具体的に説明願いたい。これですべてのPR事業は終わりとするのか、それとも秋以降にも何か行っていくのか。
農都創造部	第1弾のチラシ、ポスター、WEB サイト、パンフレット、PRグッズの作成は、5月末から6月はじめにかけて成果物ができるように早急に取り組んでいきたい。第2弾のPR動画は、6月後半から7月にかけて、ポスターについては市民参加型として、ポスターの作成そのものをイベントとして進めていきたいと考えており、6月後半から7月にかけて取り組んでいきたい。大河ドラマのストーリーの中に当市を使ってもらえるようにPRするためには、ロケハンが動く夏までが勝負であるため、今回作成する動画やパンフレット等を携え、NHK関係者の助言をもら

いながら丹波篠山市をPRしていきたい。切れ目のないような形で、マスコミにも情報提供を行いながら夏までにPR事業を展開したい。観光政策官が、本日NHK関係者に助言をもらいに京都に出向いている。今後のアドバイスを受けて対応なりPR方法を進めていく必要があると考えている。

足立委員　　ことりっぷは、いつぐらいに発刊されるのか。

農都創造部　　今年の秋号を予定している。

足立委員　　駐車場土地借上料の6万円は、どの期間までの借上費用なのか。どのぐらいの期間借りる予定なのか。また、高城山前駐車場の整備は、どのような整備を考えているのか。

農都創造部　　借地料は、年額で固定資産相当額の6万円である。今後10年間ぐらひは、借上したいということで協議している。駐車場の整備については、アスファルト舗装ではなく、表面のデコボコをならし、砕石による簡易舗装を考えている。

大上座長　　ことりっぷは明智光秀の特集なのか、それとも丹波篠山市の特集なのか。

農都創造部　　国の交付金を使って掲載することになるので、波多野秀治の関連記事や丹波篠山の観光スポットなどの内容になると考えている。

渡辺委員　　事業の進め方として、市民参画で準備委員会を組織化し、市がその活動を支援する形で事業を進めて行くと思っていた。今回の説明を聞いてみると、市主導で事業を行おうとしているように感じる。これまでの市民参画の流れはどこに行ってしまったのか。

農都創造部　　チラシの作成、補助金の新設等については、準備委員会等の意見を聞いて、今回の予算組をしている。また、本委員会は公募委員や外国人、女性、若者にも新たに委員となってもらい、6月初旬での開催を予定している。

渡辺委員　　今の進め方では、あまり市民の意見を吸い上げられていないのではないか。大河ドラマが終わった後、地域住民が明智光秀ゆかりの地であるということを再認識、愛着を持てるように進めた方がいいのではないかと。次の委員会を開催するまでに、今まで関わってくれている人々の意見を聞いて進めて行って欲しい。

農都創造部　　高城山のある八上地区の自治会長やまち協の会長、麒麟の会の委員長などの意見は聞いているが、他のゆかりの地域の方の意見は聞けていないので、意見を聞きながら進めていく。

農都創造部　　準備委員会が出た意見を基に、チラシ・ポスターなどの予算を要求しており、この素案をもって委員会で協議していきたいと考えている。山

城の整備についても、高城山を中心に、他のゆかりの地域からも意見を聞きながら取り組みたい。今回の予算要求と合わせ本委員会の開催も予定している。予算が決定すれば、地域の意見も取り入れながら、地域の中の盛り上がりを意識した事業を計画的に進めていきたい。

渡辺委員 本市は、他の自治体に比べ、市民は行政にリードすべきであるという空気感がある。そこが本市の弱みである。市民自ら盛り上げ、事業を進めて行くように仕掛けていかないといけない。多くの市民が先頭に立って事業を進めていけるように進めて欲しい。

農都創造部 地域に入ると、市は何をしてくれるのか質問されることがある。地域が盛り上がり、そこに市が支援する事業は長続きするが、市主導で始めた事業は職員が関わらなくなるとしぼんでしまう傾向にある。まずは地域自ら事業実施してもらえ、モデル選定し支援していきたいと考えている。他の地域でも、自ら取り組みたいというように地域で盛り上がりしてもらえよう、課題も投げかけながら取り組みを進めていきたい。

森本議長 ゆかりの地とは、丹波地域か市内の地域のことか。

農都創造部 この計画に関しては、市内のゆかりの地域のことである。

森本議長 看板やのぼりなどの配布先はどうか。

農都創造部 チラシ・ポスターは市内配布としている。チラシは全戸配布、ポスターは各自治会に1枚配布予定である。のぼりは、準備委員会から本委員会に移行した際に、委員として参画してもらっているゆかりの地域の団体を中心に配布し、市内全域で周知を図りたい。

森本議長 県民局と連携はしているのか。

農都創造部 県民局が中心になって登山を実施、市も協力した。また丹波市の観光部局との連携についても調整してもらっている。

また、今回の駐車場整備に充当予定のハード整備の補助金も、明智光秀ゆかりの地魅力発信事業ということで交付してもらおう予定である。

森本議長 この誘客事業を行う目的は何か。

農都創造部 短期的な目的は、市のPRである。最終目的には、市民が丹波篠山市には明智光秀のゆかりの地域があることを認識し、こうした地が篠山にあることが誇りであると再認識してもらいたいと考えている。

大上座長 高城山の登山客は、駐車場整備予定地近辺に駐車していたのか。

赤松課長 決まった駐車場はなく、私有地、公民館等に駐車されていたようである。

大上座長 高城山の山頂付近は、景観的なものも含め整備しないのか。

農都創造部 市長、教育長と協議する中で、PR事業は商工観光課、高城山整備は

8月ぐらいを目処に伐採することで教育委員会が国と協議をしていると確認している。

■議員協議

議案第41号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第2号）

— 部長、市長等への質問 なし—

■意向確認

議案第41号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第2号）

— 全員賛成—

大上座長 この結果を含め、執行部との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任願いたい。

— 異議なし—

■その他

吉田座長 あいさつ

閉会 14:38